

平成30年度

大学院総合医理工学研究科

(博士課程)

医学系専攻医学分野

学生募集要項

一般入試
社会人入試

平成30年度の本研究科の学生募集は、
第1次募集(試験日：平成30年2月21日)
第2次募集(試験日：平成30年3月12日)
の2回実施します。
※ただし第1次募集で募集人員が充足した場
合は、第2次募集を実施しません。

信州大学

信州大学大学院入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

信州大学大学院は、以下のような能力や意欲を備えた人たちを積極的に受け入れます。

- ・幅広い教養と専攻する分野の専門知識を持ち、さらに高度な専門的知識・専門応用能力を修得したい人
- ・知的好奇心が旺盛で、専門的課題や地域社会の抱える課題に主体的に取り組む人
- ・深い知性、論理的な思考力、豊かな人間性を備え、様々な分野でリーダーシップを発揮し、活躍したい人
- ・社会・環境・国際問題に関心をもち、創造力を活かし、グローバルに活躍したい人
- ・職業経験から獲得した知識・技能を高度化、深化させたい人

総合医理工学研究科入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

総合医理工学研究科では、本学の理念及び研究科の教育目標に則り、以下の能力と意欲を備えた人を積極的に受け入れます。

1. 最先端の科学・医療・健康・福祉・技術の研究に積極的に取り組む人
2. 世界をリードする科学・医療・健康・福祉・技術を担う研究者あるいは高度専門職業人を目指す人
3. 学士課程，大学院修士課程，企業，医療機関等において能動的に学び，深い専門知識と技能及び研究推進能力を身に付けている人

医学系専攻入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

医学系専攻では、研究科及び専攻の教育目標に則り、次のような能力や意欲を備えた人を受け入れます。

1. 医学分野もしくは保健学分野における科学的、倫理的、独創的な観点に基づき、基礎的あるいは臨床的研究を通して、疾病の予防・治療、健康長寿、クオリティ・オブ・ライフの向上に寄与することに対して情熱を有する人
2. 高い倫理観と科学性、学際的な幅広い視野に立って、保健・医療・福祉の領域で高度専門医療職者としてリーダーシップをとることに意欲のある人

1. 専攻及び募集人員

専攻	分野	募集人員
医学系専攻	医学分野	42人

※ 募集人員は、第1次募集と第2次募集を合わせたものです。また、一般入試と社会人入試を合わせたものです。

※ 社会人入試は、社会人が最新の医学知識・技術を学び取り、高度な医学能力、臨床医能力を身につけ、その成果を地域社会に還元したいという声に応え、昼夜開講制を導入しました。

(昼夜開講制とは、夜間や特定の時間又は時期に大学院の授業及び研究指導の時間を設けることによって、医学関連分野の研究者などが大学院教育をより受け易くする制度です。)

2. 出願資格

次のいずれかに該当する方とします。

なお、出願時に開業医、勤務医(医員、研修医等含む。)、研究機関、企業等に正規職員として勤務している方で、入学後もその身分を有する方は、社会人入試に出願してください。また、所属長から受験の承諾を受けた方とします。

- (1) 大学における医学、歯学、薬学(修業年限が6年のものに限る。)又は獣医学を履修する課程を卒業した方又は平成30年3月までに卒業見込みの方
- (2) 医学系、理工学系又は農学系分野の研究科の修士課程を修了した方又は平成30年3月までに修了見込みの方
- (3) 外国において学校教育における18年の課程を修了し、その最終の課程が医学、歯学、薬学又は獣医学であった方又は平成30年3月までに修了見込みの方
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における18年の課程を修了し、その最終の課程が医学、歯学、薬学又は獣医学であった方又は平成30年3月までに修了見込みの方
- (5) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における18年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、その最終の課程が医学、歯学、薬学又は獣医学であった方又は平成30年3月までに修了見込みの方
- (6) 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が5年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与され、その最終の課程が医学、歯学、薬学又は獣医学であった方又は平成30年3月までに授与される見込みの方
- (7) 文部科学大臣の指定した者《昭和30年文部省告示第39号…(注1)参照》
[修士課程を修了した方(平成30年3月までに修了見込みの方を含む。)等]

- (8) 学校教育法第 102 条第 2 項の規定により大学院に入学した方であって、本研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- (9) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学における医学、歯学、薬学（修業年限が 6 年のものに限る。）又は獣医学の課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めた方で、平成 30 年 3 月 31 日までに 24 歳に達する方
- (10) 大学における医学、歯学、薬学（修業年限が 6 年のものに限る。）又は獣医学の課程に 4 年以上在学した方（平成 30 年 3 月までに 4 年以上在学する見込みの方を含む。）であって、本研究科の定める単位を優秀な成績で修得したと認めたもの
- (11) 外国において学校教育における 16 年の課程を修了し（平成 30 年 3 月までに修了見込みのものを含む。）、その最終の課程が医学、歯学、薬学又は獣医学であった方で、本研究科の定める単位を優秀な成績で修得したと認めたもの
- (12) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了し（平成 30 年 3 月までに修了見込みのものを含む。）、その最終の課程が医学、歯学、薬学又は獣医学であった方であって、本研究科の定める単位を優秀な成績で修得したと認めたもの
- (13) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し（平成 30 年 3 月までに修了見込みのものを含む。）、その最終の課程が医学、歯学、薬学又は獣医学であった方であって、本研究科の定める単位を優秀な成績で修得したと認めたもの

(注 1) 文部科学大臣の指定した者とは、次の各号のいずれかに該当する方です。

- ① 旧大学令（大正 7 年勅令第 388 号）による大学の医学又は歯学の学部において医学又は歯学を履修し、これらの学部を卒業した方
- ② 防衛庁設置法（昭和 29 年法律第 164 号）による防衛医科大学校を卒業した方
- ③ 修士課程を修了した方及び修士の学位の授与を受けることのできる方並びに前期及び後期の課程の区分を設けない博士課程に 2 年以上在学し、30 単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた方（学位規則の一部を改正する省令〔昭和 49 年文部省令第 29 号〕による改正前の学位規則〔昭和 28 年文部省令第 9 号〕第 6 条第 1 号に該当する方を含む。）で本研究科において、大学の医学、歯学、薬学（修業年限が 6 年のものに限る。）又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めた方
- ④ 大学（医学、歯学、薬学（修業年限が 6 年のものに限る。）又は獣医学を履修する課程を除く。）を卒業し、又は外国において学校教育における 16 年の課程を修了した後、大学、研究所等において 2 年以上研究に従事した方で、本研究科において、当該研究の成果等により、大学の医学、歯学、薬学（修業年限が 6 年のものに限る。）又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めた方

備考：医療行為を伴う臨床研究を行う場合には、日本国の医師免許証又は歯科医師免許証を取得していることが必要となります。

3. 入学資格審査

『2. 出願資格(7)(注1)③, ④及び(8)～(13)』に該当する方については、個別に資格審査を行いますので、受付期間内にそれぞれ該当する欄の書類を提出してください。

(1) 入学資格審査申請書類受付

受付期間

第1次募集 平成30年1月 9日(火)～平成30年1月12日(金)

第2次募集 平成30年2月13日(火)～平成30年2月15日(木)

(郵送の場合は簡易書留速達郵便とし、受付期間最終日17時必着)

受付時間 9時～17時

提出先 〒390-8621 長野県松本市旭3丁目1番1号
信州大学大学院総合医理工学研究科入試事務室
(信州大学医学部大学院係)

TEL 0263-37-3376

(2) 申請書類(※印は本研究科所定の用紙)

①出願資格(7)(注1)③, ④及び(9)に該当する方

※入学資格審査申請書 (様式7)	必要事項を記入してください。
※志望理由書(様式8)	本研究科を志望した理由及び入学後の研究志望の概要を記入してください。
※研究歴証明書(様式9)	大学, 研究所等において研究に従事したことのある方のみ提出してください。
※研究業績目録(様式10)	学術論文等を別刷又は写しで添付してください。
最終学歴に関する 証明書(注)	卒業(見込)証明書(出身大学(学部)長が作成したもの), 成績証明書(出身大学(学部)長が作成し, 厳封したもの) 修士課程修了(見込)者は, 修士課程の修了(見込)証明書 及び成績証明書も提出してください。
返信用封筒 (入学資格審査結果送付用)	長形3号の封筒に郵便番号, 住所及び氏名を明記して, 82円分の切手を貼ってください。

②出願資格(8), (10)～(13)に該当する方

※入学資格審査申請書 (様式7)	必要事項を記入してください。
※志望理由書(様式8)	本研究科を志望した理由及び入学後の研究志望の概要を記入してください。
在学証明書又は 在学期間証明書(注)	出身大学(学部・研究科)長が作成したもの
成績証明書(注)	出身大学(学部・研究科)長が作成し, 厳封したもの
学修に関する資料(注)	出身学部カリキュラムが確認できるもの
返信用封筒 (入学資格審査結果送付用)	長形3号の封筒に郵便番号, 住所及び氏名を明記して, 82円分の切手を貼ってください。

(注) 日本語又は英語以外の言語で記載されている場合は, 日本語訳を添付してください。

(3) 資格審査

資格審査は, 提出された申請書類により在学年数, 取得単位等を基に行います。

(4) 結果通知期日

第1次募集 平成30年1月19日(金)

第2次募集 平成30年2月21日(水)

本人に審査結果通知書を発送します。入学資格を認定された方は, 出願手続をしてください。

4. 出願手続

(1) 出願期間

第1次募集 平成30年1月22日(月)～平成30年2月6日(火)

第2次募集 平成30年2月23日(金)～平成30年3月1日(木)

(郵送の場合は簡易書留速達郵便とし、出願期間最終日17時必着)

受付時間 9時～17時(ただし、土曜日及び日曜日は受け付けません。)

(2) 出願書類等提出先

〒390-8621 長野県松本市旭3丁目1番1号

信州大学大学院総合医理工学研究科入試事務室

(信州大学医学部大学院係)

TEL 0263-37-3376

(3) 出願書類等(※印は本研究科所定の用紙)

※入学志願票(様式1)	
※履歴書(様式2)	高等学校卒業から現在に至る経歴(国家試験合格、臨床研修を含む)を年次に従い、もれなく記入してください。
※受験票・写真票(様式3)	写真(出願日前3か月以内に撮影した、縦4cm×横3cm、上半身、無帽、正面向き、背景なしのもの)をそれぞれに貼り付けてください。
成績証明書(注)	出身大学(学部)長が作成し、厳封したものとします。 修士課程修了(見込)者は、修士課程の成績証明書も提出してください。(本学医学部・医学系研究科出身者は不要)
卒業(見込)証明書(注)	出身大学(学部)長が作成したものを提出してください。(本学医学部出身者は不要)
修士課程修了(見込)証明書(注)	修士課程修了(見込)者は、出身大学(研究科)長が作成したものを提出してください。(本学医学系研究科出身者は不要)
学士の学位等に関する証明書及び評価に関する証明書(注)	【出願資格(6)に該当する方のみ提出してください。】 当該外国の大学等が授与した学位、修業年限がわかる証明書及び評価を受けた結果がわかる証明書を提出してください。
※入学検定料納付確認書(A票)	① 入学検定料30,000円をこの募集要項に添付する振込依頼書(C票)を使用して、 (第1次募集)*白色の用紙 <u>平成30年1月15日(月)から平成30年2月6日(火)</u> (第2次募集)*黄色の用紙 <u>平成30年2月16日(金)から平成30年3月1日(木)</u> までの間に金融機関から電信扱いで振り込んでください。振込みには、別途振込手数料が必要です。なお、郵便局(ゆうちょ銀行)からの振込みはできません。また、ATM(現金自動預支払機)、携帯電話及びパソコンからの振込みは行わないでください。 ② 振込み後、納付確認書(A票)及び領収書(B票)を受け取り、A票、B票の所定欄に金融機関の収納印があることを確認し、納付確認書(A票)を提出してください。 また、「取扱金融機関収納印」欄には、出願期間最終日までの収納印があるものに限り有効となりますので、特に出願期間最終日に振り込む場合には、金融機関の窓口での受付時間を確認のうえ、行ってください。 ③ 出願期間最終日に持参により提出する方で、金融機関の窓口業務取扱時間内に振込みができなかった方に限り、現金による納付を受け付けます。 *本学の大学院研究科修士課程を修了見込みの方及び国費外国人留学生は、入学検定料は不要です。

※受験承諾書(様式4)	社会人入試出願の方は、勤務先の所属長等が作成したものを提出してください。
※受験票送付用封筒	この募集要項に添付する封筒に郵便番号、住所及び氏名を明記して82円分の切手を貼ってください。(ホームページから学生募集要項をダウンロードのうえ出願する方は、自身で長形3号の封筒を用意してください。)
※宛名票(様式5)	合格通知書等の送付先を記入してください。
※外国人留学生申請書(様式6)	【外国人志願者のみ提出してください。】
「住民票の写し」 又は 「パスポート」のコピー	【外国人志願者のみ提出してください。】 現に日本国に在住し、かつ、「在留カード」又は「外国人登録証明書」をお持ちの方は、「住民票の写し」(居住している市区町村長が発行するもの)1通を提出してください。 それ以外の方は、「パスポート」のコピー(氏名、国籍、生年月日、性別が記載された部分及び日本国査証の部分)を提出してください。
「入学資格認定書」 のコピー	【該当者のみ提出してください】

(注) 日本語又は英語以外の言語で記載されている場合は、日本語訳を添付してください。

(4) 出願方法

「(3) 出願書類等」を一括して郵送又は持参してください。なお、郵送の場合は、封筒の表に「大学院博士課程医学系専攻医学分野入学願書在中」と朱書きし、必ず簡易書留速達としてください。出願期間終了日以降、受験票を本人宛に送付します。

5. 選抜方法等

入学者の選抜は、外国語試験、面接の結果及び成績証明書を総合して行います。

- (1) 外国語試験は、辞書(医学用語辞典を含む。)の持ち込みを可とします。ただし、電子辞書及び辞書機能をもつ電子機器類は不可とします。
- (2) 面接は、志望する専攻科目について行います。

試験日時・場所

期日	時間	試験科目	試験場
第1次募集 平成30年2月21日(水)	10:00~12:00	外国語 (英語)	信州大学医学部
第2次募集 平成30年3月12日(月)	13:00~	面接	※詳細は受験票送付時に通知します。

6. 合格発表

日時

- 第1次募集 平成30年3月1日(木) 10時
第2次募集 平成30年3月15日(木) 10時

信州大学医学部大学院生用掲示板に掲示するとともに、同日中に合格者に対し合格通知書を送し、公式発表とします。また、信州大学大学院ホームページに合格者の受験番号を発表しますが、必ず合格通知書又は掲示板で確認願います。なお、電話やメール等による合否のお問い合わせには応じられません。

7. 入学手続

合格者は、次により入学手続を行ってください。なお、詳細については合格通知書に同封してお知らせいたします。

(1) 入学手続期間

第1次募集 平成30年3月 2日(金)～平成30年3月 9日(金)

第2次募集 平成30年3月16日(金)～平成30年3月23日(金)

受付時間 9時～17時(ただし、土曜日、日曜日及び祝日は受け付けません。)

(2) 入学手続場所

「4. 出願手続(2) 出願書類等提出先」と同じです。

(3) 入学料の納入等

①銀行振込により所定の入学料を納入してください。

②既納の入学料は、どのような理由があってもお返しできません。

③入学料・授業料の納入が著しく困難な方には、免除制度、徴収猶予制度及び月割分納制度(授業料のみ)があります。

(4) 手続に当たっての注意事項

入学手続締切期日までに入学手続を完了しない場合は、本学への入学を辞退したものと取り扱います。

8. 募集要項請求方法

郵送を希望する場合は、封筒の表に「大学院学生募集要項(博士課程医学系専攻医学分野)請求」と朱書きし、返信用封筒(角形2号(横24cm×縦33.2cm)に250円分の切手を貼り、郵便番号、住所及び氏名を明記)と連絡先(電話番号及びメールアドレス)を記載したものを同封し、「4. 出願手続(2) 出願書類等提出先」に請求してください。

9. 障害等のある方の事前相談

本学に入学を志願する方で、障害等のために受験上及び修学上の配慮を必要とする方は、出願前のできる限り早い時期に書面により、「4. 出願手続(2) 出願書類等提出先」へ相談をしてください。

詳細、書面の様式については、本学のホームページ(障害等のある方の事前相談)をご覧ください。http://www.shinshu-u.ac.jp/ad_portal/consultation.html

10. 注意事項

(1) 本研究科に入学を希望する方は、あらかじめ志望する教室の担当教員と研究内容等について相談のうえ、出願してください。

(2) 受理した出願書類及び検定料は、どのような理由があってもお返しできません。

また、提出後の記入事項の変更は認めません。なお、検定料を誤って二重に振り込んだ場合又は振り込んだが本学に出願しなかった(出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった)場合は、本人の請求により納入された検定料(二重に振り込んだ場合は重複して納入された分)の返還が可能です。返還手続については、本学のホームページ(入学検定料返還手続)をご覧ください。http://www.shinshu-u.ac.jp/ad_portal/return.html

(3) 出願手続後、現住所又は緊急連絡先に変更が生じたときは、速やかに「4. 出願手続(2) 出願書類等提出先」に連絡してください。

信州大学大学院総合医理工学研究科 医学系専攻医学分野入学案内

1. 目的（総合医理工学研究科）

医学，保健学，理学，工学，農学，生命医工学の各専門分野の深い知識・技能と，社会の変化への柔軟な対応力を兼ね備え，社会に寄与する有為な高度専門職業人・研究者を養成するため以下の能力を共通の必須能力として修得させる。

1. 専門分野以外の課題を見渡すとともに自身の研究課題の社会的意義を再認識する俯瞰力
2. 高度専門職業人・研究者として科学・技術を発展させるための健全な倫理観

2. 標準修業年限 4年

3. 修了要件及び履修方法

博士課程に4年以上在学し，32単位以上を修得し，かつ必要な研究を受けた上，博士課程の目的に応じ，博士論文の審査及び最終試験に合格することです。ただし，在学期間に関しては，研究科が優れた業績を上げたと認める者については，博士課程に3年以上在学すれば足りるものとします。（詳細については，「4. 出願手続（2）出願書類等提出先」に問合せしてください。）

単位修得の認定は，試験又は研究報告によって行います。

専門領域における研究指導は複数教員による指導体制のもとに行います。

研究科共通科目（必修科目）	2単位
専攻共通科目（必修科目）	2単位
専攻共通科目（選択必修科目）	2単位
分野共通科目（必修科目）	2単位
分野共通科目（選択必修科目）	6単位
専門科目（必修科目）	12単位
専門科目（選択必修科目）	6単位

を満たし，取得単位数の合計が32単位以上

4. 授与される学位

博士（医学）の学位が授与されます。

5. 入学料・授業料

入学料 282,000円

授業料（前期）267,900円（後期）267,900円

金額は平成29年4月現在のものです。入学時及び在学中に入学料・授業料が改定された場合には，改定時から新入学料・新授業料が適用されます。納付金の額及び納付の方法については，合格通知書に同封してお知らせします。なお，本学の大学院研究科修士課程を修了し，引き続き博士課程に進学する方及び国費外国人留学生は，入学料を納付する必要はありません。

6. 奨学金

日本学生支援機構から奨学金の貸与を希望する方は，選考のうえ，奨学生に採用されます。

信州大学大学院総合医理工学研究科医学系専攻医学分野の
組織及び研究内容

※ 各メールアドレスの後の「shinshu-u.ac.jp」を省略してあります。

教室	担当教員	主な研究内容
組織発生学	城倉 浩平 kohei@	<ul style="list-style-type: none"> ・ES・iPS 細胞生物学 ・臓器工学 ・臨床解剖学
人体構造学	福島 菜奈恵 nanae@	<ul style="list-style-type: none"> ・神経解剖学 ・機能解剖学 ・神経再生
病理組織学	菅野 祐幸 hirokan@	<ul style="list-style-type: none"> ・人体病理学（膠原病・腎・血管，前立腺，リンパ造血系の病理） ・EBウイルス感染の病理，免疫病態
感染防御学	中山 淳(兼務) jnaka@	<ul style="list-style-type: none"> ・感染免疫学 ・日和見感染症 ・自己炎症性疾患 ・免疫不全症
生理学	沢村 達也 sawamura@	<ul style="list-style-type: none"> ・血管の生物学・病理学 ・生活習慣の病因解明とその予防・診断・治療法の開発
分子細胞生理学	田渕 克彦 ktabuchi@	<ul style="list-style-type: none"> ・大脳生理学（脳機能の解明） ・精神・神経疾患の原因解明
分子薬理学	山田 充彦 myamada@	<ul style="list-style-type: none"> ・心筋・骨格筋・平滑筋の分子薬理学 ・イオンチャネルの分子薬理学
分子薬理学 〔臨床薬理学〕	山折 大 syamaori@	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒト胎児肝細胞における医薬品を含む異物に対する防御機構の解明 ・ヒト中枢神経細胞における薬物代謝酵素の機能解析 ・薬物代謝酵素を介した薬物間相互作用の機序解明
免疫・微生物学	竹下 敏一 takesit@	<ul style="list-style-type: none"> ・リンパ球増殖・分化の分子制御機構 ・サイトカインのシグナル伝達機構 ・腫瘍ウイルスによる発癌機構
免疫制御学	瀧 伸介 takishin@	<ul style="list-style-type: none"> ・免疫細胞の分化と機能の調節機能 ・生体防御の分子機構 ・免疫異常およびアレルギーの発症機構
内科学 〔呼吸器内科学 感染症学 アレルギー学〕	花岡 正幸 masayuki@	<ul style="list-style-type: none"> ・慢性閉塞性肺疾患(COPD)・気管支喘息の気道・肺の炎症に関する研究 ・COPD の病態に関する基礎的研究 ・胸部悪性腫瘍の治療に関する研究 ・間質性肺疾患の病態・治療に関する研究 ・新興・再興呼吸器感染症に関する臨床研究 ・非結核性抗酸菌症の病態・治療に関する研究 ・高山病・高地肺水腫の病態に関する研究 ・睡眠時無呼吸症候群の病態・治療に関する研究 ・肺高血圧症の病態・治療に関する研究
内科学 〔消化器内科学 腎臓内科学 血液内科学〕	梅村 武司 tumemura@	<ul style="list-style-type: none"> ・ウイルス肝炎の抗ウイルス療法 ・de novo B 型肝炎の病態と予防 ・自己免疫性肝疾患の遺伝的背景，病態，治療 ・非アルコール性脂肪性肝炎の病態と治療 ・IgG4 関連疾患の病態解明 ・T-NK 細胞増殖性疾患の病態解明 ・難治性血液疾患に対する造血幹細胞移植 ・糸球体腎炎の成因解明と治療法の開発

教室	担当教員	主な研究内容
内科学 〔脳神経内科学 リウマチ・ 膠原病内科学〕	関島 良樹 sekijima@	<ul style="list-style-type: none"> ・代謝性神経筋疾患（アミロイドーシス）の成因と治癒に関する研究 ・神経変性疾患（脊髄小脳変性症，パーキンソン病，ALS）の成因解明 ・末梢神経障害の生理学的解析および治療法の開発 ・免疫性神経疾患の成因と治癒に関する研究 ・筋ジストロフィーの研究 ・リウマチ関連疾患，膠原病の成因解明と治療法の開発 ・成人型シトルリン血症の病態解明 ・遺伝性周期熱の病態解明と治療法の開発
内科学 〔糖尿病・内分泌 代謝内科学〕	駒津 光久 mitsuk@	<ul style="list-style-type: none"> ・2型糖尿病の病態解明 ・睥ラ氏島の生物学 ・甲状腺ホルモン作用機序 ・遺伝性，家族性発症の腫瘍疾患の遺伝子診断とその治療への応用 ・加齢現象と疾患に関する基礎的研究および内分泌代謝疾患の研究 ・各種病態における栄養学
内科学 〔循環器内科学〕	桑原 宏一郎 kkuwah@	<ul style="list-style-type: none"> ・心エコーによる心機能解析 ・不整脈疾患の病態解析 ・冠動脈疾患のイメージング解析 ・閉塞性動脈硬化症の先端医療 ・心臓リハビリテーションの啓発活動 ・幹細胞を用いた心血管再生医療 ・心血管疾患における炎症の関与 ・心不全の病態解明
皮膚科学	奥山 隆平 rokuyama@	<ul style="list-style-type: none"> ・悪性黒色腫の臨床診断精度の向上に関する研究 ・悪性黒色腫の新しい治療法の開発 ・皮膚腫瘍の分子細胞生物学的な診断システムの開発 ・表皮細胞の増殖・分化制御と発癌機構に関する分子細胞生物学的解析 ・酸化ストレス応答の面からのアトピー性皮膚炎の病態解析 ・乾癬の新しい診断法の確立と臨床応用
画像医学	藤永 康成 fujinaga@	<ul style="list-style-type: none"> ・画像診断による病変の早期発見と鑑別診断 ・画像診断による疾患の病態解明 ・画像診断法の治療応用（IVR） ・新しい画像診断法・治療法の開発 ・悪性腫瘍の放射線治療を中心とする集学的治療
外科学 〔消化器外科学 移植外科学 小児外科学〕	小林 聡 kbys@	<ul style="list-style-type: none"> ・消化器外科（消化管，肝臓・胆道・膵臓） ・移植外科（肝移植） ・小児外科 ・臓器移植と再生医療（同種・異種移植，拒絶反応，肝再生，ES細胞を用いた肝様構築に関する研究） ・腫瘍学（分子標的治療，癌細胞のアポトーシス誘導，癌幹細胞）
産科婦人科学	塩沢 丹里 tanri@	<ul style="list-style-type: none"> ・産婦人科腫瘍の発生と進展機序 ・産婦人科腫瘍に対する新しい治療法の開発 ・産婦人科腫瘍の病理診断 ・胎盤の老化の分子機序の研究 ・不妊症の診断と新しい治療法の開発
泌尿器科学	石塚 修 ishizuk@	<ul style="list-style-type: none"> ・神経泌尿器科 ・尿路性器腫瘍 ・尿路形成手術 ・尿路再生 ・女性泌尿器科 ・腎臓移植
形成再建外科学	杠 俊介 yuzuriha@	<ul style="list-style-type: none"> ・赤唇の再生 ・爪変形の病態解明 ・血管腫・血管奇形 ・乳房再建外科・リンパ浮腫の外科 ・頭蓋顎顔面外科 ・唇顎口蓋裂

教室	担当教員	主な研究内容
麻酔蘇生学	川眞田 樹人 kawamata@	<ul style="list-style-type: none"> ・手術痛や癌性疼痛の疼痛メカニズムと新たな鎮痛薬の開発 ・麻酔と交感神経活動との研究 ・中枢神経損傷時のオピオイドの神経毒性 ・麻酔と情動に関する研究 ・麻酔薬と血管新生に関する研究
精神医学	鷺塚 伸介 swashi@	<ul style="list-style-type: none"> ・統合失調症，気分障害の臨床・生物学的研究 ・症状性，器質性精神病の臨床・生物学的研究 ・老年期精神障害の要因，疫学，診断，治療学的研究 ・認知症疾患（アルツハイマー型認知症，血管性認知症）の画像診断と治療学 ・発達障害などの児童思春期の臨床研究 ・リエゾン・コンサルテーション精神医学
	連携教員 埴原 秋児	<ul style="list-style-type: none"> ・地域精神医療に関する研究 ・認知症，老年精神医学の研究 ・児童・思春期・青年期精神医学，発達障害等の研究 ・統合失調症，うつ病・依存症等の研究
眼科学	村田 敏規 murata@	<ul style="list-style-type: none"> ・網膜硝子体疾患 ・緑内障 ・ぶどう膜炎 ・糖尿病網膜症 ・加齢黄斑変性
耳鼻咽喉科学	茂木 英明 moteki@	<ul style="list-style-type: none"> ・難聴の遺伝子解析 ・人工内耳 ・耳鼻咽喉科疾患の分子生物学
遺伝医学・予防医学	古庄 知己 ktomoki@	<ul style="list-style-type: none"> ・遺伝医学，分子細胞遺伝学 ・遺伝疾患の遺伝子解析 ・臨床遺伝学 ・遺伝カウンセリング
衛生学公衆衛生学	野見山 哲生 nomiyama@	<ul style="list-style-type: none"> ・環境医学 ・産業医学（中毒学・疫学） ・疫学 ・公衆衛生（母子保健・精神保健 他） ・臨床疫学
医学教育学	森 淳一郎 jimori@	<ul style="list-style-type: none"> ・試験問題作成の省力化と教員の教育能力向上を目指す試験問題作成支援ソフトの開発とその成果 ・本邦の医学教育に適した少人数学習の開発とその成果 ・学外医療従事者に対する医学教育啓発方法の開発 ・本邦に適した医学シミュレーション指導法の開発
医学教育学 〔医療情報学〕	濱野 英明 hidehama@	<ul style="list-style-type: none"> ・医療情報学 ・病院情報システム ・医療情報連携システム ・電子カルテにおける個人情報保護
病態解析診断学	上原 剛 tuehara@	<ul style="list-style-type: none"> ・上皮性腫瘍の外科病理学と組織化学 ・間質性肺炎の病態解析 ・H. pylori の臨床病理学 ・凝固線溶糸の分子生物学的解析 ・IgG4 関連疾患の病態解明
法医学	浅村 英樹 asamura@	<ul style="list-style-type: none"> ・法医遺伝子学 ・法医病理学 ・法中毒学 ・DNA タイピングと疾患原因遺伝子の解析
救急集中治療医学	今村 浩 imamura@	<ul style="list-style-type: none"> ・脳心肺蘇生法の開発 ・人工呼吸法の開発 ・体外式心肺補助法の開発 ・重症臓器不全における治療法の開発 ・災害医療

教室	担当教員	主な研究内容
包括的がん治療学	小泉 知展 tomonobu@	<ul style="list-style-type: none"> ・各種がんの治療における個別化治療 ・クリニカルシーケンスを用いた個別化医療 ・腫瘍免疫の基礎と新たな免疫療法 ・希少がん, AYA 世代のがんの疫学と治療 ・第Ⅲ期がんプロによるがん専門医取得と研究推進
神経可塑性学	棚橋 浩 tanahasi@	<ul style="list-style-type: none"> ・抹消, 中枢神経シナプス分子の機能解析 ・神経細胞内情報伝達 ・神経疾患の基礎研究
分子病理学	中山 淳 jnaka@	<ul style="list-style-type: none"> ・診断病理学 ・分子病理学 ・糖鎖生物学 ・組織細胞化学
代謝制御学	田中 直樹 naopi@	<ul style="list-style-type: none"> ・核内リセプターの生理機能探索 (脂肪代謝・輸送・糖代謝・抗炎症・抗線生 化・発癌) ・脂肪肝・糖尿病・肥満・高脂血症発生病態の解明, 治療薬の検討 ・環境ホルモンによる生殖器障害発生病態の探求 ・病態栄養学 (コレステロール・トリグリセライド・糖質) ・病態におけるスルファチドの役割・機能について
循環病態学	新藤 隆行 tshindo@	<p>トランスジェニックマウスやノックアウトマウスを, クリスピー/Cas法を 応用して, 当教室で独自に作成し, その解析から, 再生医療をはじめとした新 たな治療法開発や, 疾患発症のメカニズム解明を目指した研究を行っている。 このため, ES細胞の遺伝子操作や, 胚操作技術に加え, 現在の医学研究の様々 な手法を集約的に導入している。 (詳細は教室HPをご覧ください。 http://www7a.biglobe.ne.jp/~shindo/)</p>
スポーツ医科学	(増木 静江) masuki@	<ul style="list-style-type: none"> ・運動生理学 ・環境生理学 ・温熱生理学 ・運動トレーニング, 環境適応過程における体液循環調節機構 ・暑熱適応, 寒冷適応 ・高地適応メカニズムの解明 ・老化防止のための運動処方に関する研究
健康促進学 (協力・連携教室)	寺沢 宏次 kterasa@	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの脳の発達についての教育心理学的研究 ・運動コミュニケーション ・高齢者の健康教育に関する研究
	高橋 知音 tomonet@	<ul style="list-style-type: none"> ・発達障害のある人の認知機能に関する心理学的研究 ・読み書きの情報処理に関する心理学的研究 ・心理検査の開発
	島田 裕之 shimada@ ncgg.go.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢期の機能障害に関する研究 ・老年症候群の疫学と危険因子に関する研究 ・運動などによる認知症の予防に関する研究
感染病態解析学 (寄附講座)	高本 雅哉 masaya@	<ul style="list-style-type: none"> ・人獣共通感染症に対する防御免疫機構 ・細胞内寄生病原体による炎症機構 ・腸内細菌叢による腸炎の解析

この募集要項に関する照会先

信州大学大学院総合医理工学研究科入試事務室
(信州大学医学部大学院係)

〒390-8621 長野県松本市旭3丁目1番1号
TEL 0263(37)3376 (直通)
FAX 0263(37)3080

※個人情報の利用について

信州大学における入学試験を通して取得した個人情報については、入学試験のほか次の目的のために利用いたします。

- ① 入学手続
- ② 学籍管理
- ③ 学習指導
- ④ 学生支援関係業務
- ⑤ 入学者選抜方法及び大学教育改善のための調査・研究

なお、調査・研究及び結果の発表に際しては、個人が特定できないように処理します。